

# グループ会社の春闘スタート! 年間賃金減少! 物価上昇で私たちの生活は限界だ! 全組合員で2022JR総連春闘をつくり出そう!

## バス関東本部

### 【要求内容(要旨)】

- ・基本給一律6,000円(定昇含まず)引き上げること。※契約社員Aを含む
- ・契約社員B・日給制臨時雇員の基本日額一律15,000円にすること。
- ・時給制臨時雇員の時給を一律2,000円にすること。
- ・定期昇給を完全実施すること。
- ・21春闘で削られた定期昇給のカット分を別途支給すること。
- ・55歳以上における基本給減額制度を見直し改善すること。
- ・「65歳定年制」を導入すること。
- ・回答は2022年3月31日までとすること。

## バス東北本部

### 【要求内容(要旨)】

- ・基本給一律6,000円(定昇含まず)引き上げること。
- ・契約社員の基本日額一律300円引き上げること。
- ・定期昇給を完全実施すること。
- ・21春闘で削られた定期昇給のカット分を別途支給すること。
- ・55歳以降の社員に対して、定期昇給を実施すること。
- ・「65歳定年制」を導入すること。
- ・60歳未満の契約社員において、希望者全員をバス社員に登用すること。
- ・回答は2022年3月31日までとすること。

## ステーションサービス協議会

### 【要求内容(要旨)】

- ・基本給一律6,000円(定昇含まず)引き上げること。
- ・定期昇給を実施すること。(昇給係数「4」)
- ・各等級の所定昇給額を増額すること。
- ・回答は2022年3月31日までとすること。



## 工務部会

山貨事故を原点に安全風土の再確立と  
組織の強化・拡大をつくり出すことを確認!  
「命を守る」工務安全集会2022

2月20日、「命を守る」工務安全集会2022を23名の参加で開催しました。新型コロナウイルス感染症対策を行い、リモート機能を活用し開催しました。山手貨物線接触死亡事故(山貨事故)から23年が過ぎ、組合員の多くは山貨事故後の採用です。山貨事故は工務部会にとって安全風土の基礎となる「原則線閉」を築ききつかけとなった事故です。集会では事故の教訓を再確認し、昨年6月16日に発生した米坂線・手ノ子ノ羽前沼沢駅間でのレールスターと列車が衝突した事象についての原因究明委員会報告を行いました。意見交換では職場はメンテナンフリー化が進み、設備を熟知していない人が多い、庭先意識が薄れ場所

がよく分からない等、安全風土の確立に向けた警鐘が鳴らされました。その後、未来の工務職場像について議論を行いました。「変革2027」のスピードアップにより、施策が矢継ぎ早に出されている中、どのように工務職場を残していくのか。システムに依存する体制になり技術レベルの低下が起きてしまう等の意見も出されました。

今後は施策の検証と人間でしかできない業務を明確にすることで、将来どのような工務職場を残すのか、全組合員と議論を行っていきます。組合員不在の系統もありますが、離脱者・未加入者からも幅広く意見を聞きながら未来の工務職場をつくり出します。

## 営業部会

各種施策に向き合い、  
安全・健康・ゆとりと働きがいをつくり出す!  
「営業職場意見交換会」

2月22日日本部会議室及びリモート会場にて、営業部会主催「営業職場意見交換会」を30名の参加で開催しました。「現業機関における柔軟な働き方の実現について」の地方議論がされている中、様々な事象が発生しています。エリア管理や系統を超えて業務を行うことで「安全が脅かされていないか」「教育体制に問題はないか」など職場実態を共有する議論を行いました。

参加者から「見張り員訓練を赤色旗も持たずに行っている」「乗務員から20年ぶりに駅に着任したが、見習いが3徹しかなく不安」「CS勉強会は入社1〜2年目のCS委員が講師を担うため経験が浅い」「委託駅ではマジックハンド対応を行うのに安全綱領がないため、安全に

対する意識が醸成されない」など、職場の実態が語られました。

今後、会社が述べている「多様な経験を積んだ人」が職場の中心になっていけば、職場の危険箇所や要注意箇所、失敗談などを語る専門的に経験豊富な人がいなくなり、重大事故に繋がる危機感を共有しました。その後会社は、「1つの業務を専門的に担う人材育成も否定しない」「社員一人ひとり得意、不得意があり、様々なパターンがある」と回答していることを一致し、私たち自身が交渉の確認事項を職場で議論し、安全風土をつくることを全体確認しました。

今会議の議論を基に、今後職場議論を通じてJR東労組の必要性を訴え、新規採用者を含めた組織拡大を行っていきます。



## サークル協議

サークルのつながりを基礎に、  
明るく楽しい活動で仲間を増やそう!  
「2022サークルセミナー」

2月27日、「2022サークルセミナー」を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策の観点からリモートを活用し、各地本のサークル担当者や各サークルの代表者、合計44名の仲間が集まりました。

午前中は「各地本サークル担当者会議」を開催しました。サークル協議会よりサークル活動での繋がりが、各地本で連携して大会等を開催できないか提起を行い、各地本のサークル活動の現状を共有し、前向きな議論をしてきました。

午後は「サークルセミナー」を開催し、本部・佐藤中央執行委員長より特別講演をいただきました。組織強化・拡大のために議論を深めていく必要があることや、会社の組織再編において何が目指されているのか。変革2027の終着点について私たちが議論していく必要がある。2022JR総連春闘について統一要求・統一闘争でたたかうこと、「えん罪・JR浦和電車区事件」から20年、今後も組織内外の仲間と共に広範な連携

をつくり出すことなどが述べられました。その後、参加者による相互討論を行い、スキー・ボード部からは、「レクを開催し、再建総会にて、新役員体制を確立した」と報告がありました。多くのサークルがコロナ禍の中で、大会・総会・例会の開催に向けての議論をしています。今後もサークル活動を通じて組織強化・拡大を目指し、サークル協議会が最前線で取り組みをつくり出していきます。



## 集え! 審判員!

### JR東労組軟式野球部 「審判員講習会」

とき  
2022年4月26日(火)  
13:30~

ところ  
さいたま市営浦和球場  
(北浦和駅12時40分集合)

参加費 一人1,000円  
締め切り 4月12日(火)



詳細について本部・各地本へお問い合わせ下さい。  
審判員をしている組合員や審判員に興味がある方は是非ご参加下さい!